

7

ビジョンの着実な推進

(1) 山村振興推進本部による進行管理

「あいち山村振興ビジョン」に位置付けた施策を着実に推進していくため、担当部局は、毎年度の予算編成において重点的な検討を行い、具体化を図っていくとともに、分野ごとに策定される個別計画などにも反映させていく。

三河山間地域の振興を総合的に推進する全庁的組織である山村振興推進本部において、ビジョンに位置付けた施策の進行管理を継続的に行っていくとともに、必要に応じて、関係部局間の調整を行っていく。進行管理にあたっては、評価指標を設定していく。

山村振興推進本部においては、三河山間地域で深刻化している課題の把握や、解決策の検討・具体化を継続的に行っていく。特に、ビジョンにおいて、今後検討していくと位置付けられた取組については、検討組織の設置などにより、迅速な検討を進めていく。

所管が不明確な新たな課題が生じた場合には、山村振興推進本部において迅速に所管の決定を行っていく。

(2) 連携主体との情報共有

「あいち山村振興ビジョン」では、地域住民はもとより、市町村、経済団体、大学、企業、NPO、ボランティアなど、様々な主体との連携体制のもとで施策を展開することとしている。また、隣接県や都市地域など広域的な枠組みでの連携も強化することとしている。こうした多層的、広域的な連携主体と効果的に協働していくためには、情報共有や認識の統一が不可欠である。そのため、ビジョンに位置付けた施策の進捗状況や新たな課題などについて整理したうえで、ホームページ等を通じて情報発信し、連携主体はもとより、地域全体で共有できるようにしていく。

連携主体をビジョンの推進にあたっての外部アドバイザーと位置付け、必要に応じて、提言などを求めていく。この提言は、山村振興推進本部を通じ、全庁的に共有していく。

(3) ビジョンの見直し

「あいち山村振興ビジョン」は、ビジョンに位置付けた施策の進捗状況や、外部環境の変化などを踏まえ、柔軟な見直しを行っていく。